

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	上下水道課
課 名	上下水道課

預算	款	項	目	決算書	
	—	—	—	340	頁

目 名
—

事務事業名称
簡易水道事業

1. 概要

目的	各給水区域に飲料水を供給する。				対象	各給水区域内の市民
事業概要	○簡易水道事業					
	・清川簡易水道	給水人口	985人	配水量	92,737m³	
	・緒方簡易水道	給水人口	3,226人	配水量	367,672m³	
	・大野簡易水道	給水人口	1,976人	配水量	173,169m³	
	・千歳簡易水道	給水人口	1,225人	配水量	225,754m³	
	・犬飼簡易水道	給水人口	4,101人	配水量	513,358m³	
	計	給水人口	11,513人	配水量	1,372,690m³	

臨／経	事業名	事業内容（主な経費等）		予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	簡易水道事業	給水人口11,513人、総配水量1,372,690㎡	償還金利子および割引料	369,129	335,849			1,099	334,750	3
計				369,129	335,849	0	0	1,099	334,750	

2. 指標設定

成果指標	指標名		安定的に飲料水が提供されている人口割合	目標年度	H27	指標の設定理由					
	数値		62%			総合計画／後期基本計画において、基本施策(3-1-2)の目標としているため					
活動指標	指標	a	水質検査		b	老朽管の解消		c		d	
	数値	目標	年12回		目標	随時		目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H 2 1	H 2 2	H 2 3
安定的に飲料水が提供されている人口割合		59.8 %	60.9 %	61.6 %
		96.5 %	98.2 %	99.4 %

活動指標名		単位	H 2 1	H 2 2	H 2 3
a	水質検査	%	12 回 100 %	12 回 100 %	12 回 100 %
b	老朽管の 解消		100 % —	100 % —	100 % —
c					
d					

4. 課題と対応

課題
組合あるいは個人での水道施設があり、加入金や使用料等の経費の点から加入促進に苦慮している。
対応（改善点等）
加入促進のため、施設維持管理面や安全性・安定性等を啓発していく。

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

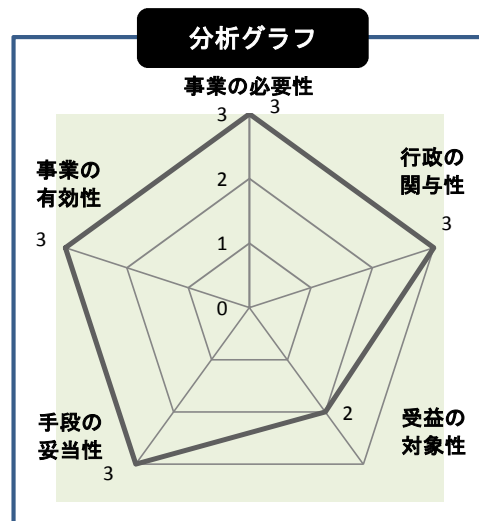
決 算 額 (千円)		H21	H22	H23	H24
		335,130	356,615	335,849	312,637
うち経常経費		152,693	192,709	312,282	301,348
財源内訳	国 費				
	県 費				
	市 債				
	そ の 他	163,189	169,188	1,099	5,735
	一般財源	171,941	187,427	334,750	306,902
	うち経常	152,693	187,427	311,847	300,444
事業費に係る人件費		—	—	—	—

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
簡易水道事業の運営のため

7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	水の安全性の確保と安定供給が必要である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	多くの市民に対し、安全な飲料水が安定的に供給する必要がある
③ 受益の対象性	事業対象の確認	2	未給水区域人口と施設工事との関係で市民全体への事業実施は不可能である
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	水の安全性の確保のための水質検査や安定供給のための老朽管の解消は適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3	目標どおりの成果があがってきている



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き未収金の回収に努めるとともに、適切及び効果的な事業実施を図ること